

2026年度 群馬県立女子大学文学部文化情報学科
一般選抜（後期）

採点のポイント

問題1

① 全体の傾向を読み取り

- ・ 「日本の相対的貧困率が高い」ことが読み取れている。
- ・ 他国と比較を行い、正しく説明されている。

② 年齢別の特徴を読み取り

- ・ 「日本では高齢者の相対的貧困率が他国より高い」ことが読み取れている。
- ・ 高齢者の相対的貧困率が高い国もあれば、子どもの相対的貧困率が高い国もあり、世代間の格差が国によって異なることに言及している。
- ・ 他国と比較を行い、正しく説明されている。

③ 世帯別の特徴を読み取り

- ・ 「日本ではひとり親世帯の相対的貧困率が高い」ことが読み取れている。
- ・ ひとり親世帯とふたり親世帯との相対的貧困率の差が大きいことに言及している。
- ・ 他国と比較を行い、正しく説明されている。

④ 日本の特徴についての自分の考えを具体的にまとめている

- ・ 日本の相対的貧困率が高い理由について言及している。
- ・ 日本の高齢層の貧困率が高い理由について言及している。
- ・ 子どもの家庭環境によって貧困の連鎖が起こる可能性について言及している。

⑤ 構成・論理性・表現力

- ・ 文章の構成が明確で、論理的に展開されており、適切な表現で記述されている。

問題 2

① 人間と情報について本文のまとめ

- ・ 人間が動物の中で特殊である理由について、「コミュニケーションの必要性」または「巧みな情報交換」に触れて説明されている。
- ・ 情報が意味をなすためには、それを受け取る主体の必要性について言及している。
- ・ 人間が様々な対象を情報化し進歩してきたこと、また人間そのものも情報化することに成功したことについて言及している。

② 情報化によってどのような文化を生み出していくか、に対する具体例と自分の考えの提示

- ・ 適切な具体例を挙げている（SNS など）。
- ・ 上の具体例が適切であることを、情報化に触れながら説明されている。
- ・ 情報化によって生み出される文化について自分の考えを論理的に記述している。
- ・ 上の記述に加え、人間の未来に対する期待あるいは不安について言及している。

③ 論理構成と優れた表現

- ・ 裁量点。
- ・ 文章全体が論理的で、一貫性がある適切な表現で記述されている。
- ・ 人間の情報交換の特殊性とフィード・バックやサイバネティックスの関係について論じられている。
- ・ ②で挙げた文化に対し期待と不安の両方について言及している。